

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日: 平成 19 年 11 月 5 日

評価日: 平成 19 年 11 月 5 日

事業所名	みしょうの里
------	--------

作成者(代表)	職名 <u>管理者</u>
	氏名 <u>赤松直美</u>

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(19 年 11 月 5 日)
	自己	外部				
1	37	16	センター方式への取り組み(記載が画一的にならないようにする。)	利用者の言葉や態度を監査し、記録しながら、利用者全員をセンター方式へ移行していく。	その都度	職員間でどのシートを使うか話し合い、共有することで新たな利用者の一面が発見できた。
2	20	11	他施設のよい点を取り入れる。	まずは同町内に開設しているホームを見学させてもらう。そこから、少しずつ関係を深めていく。	その都度	
3	15	8	さらに家族の心情を汲み取っていけるよう努力する。	なかなか面会に来られない家族にも、様子を伝えながら、関係を維持し何でも気軽に話ができるように対応していく。	定期的に	
	9	6	町担当者からの依頼(認知症事業への協力)	できる事であれば、ぜひ協力していきたい。	その都度	
	26	12	離れを利用した地域交流やデイサービスへの取り組み。	デイサービスについては職員数や対応できる職員配置等の必要がある。	定期的に	
	47	19	重度化や終末期にむけての取り組み。	介護職員の配置等あるものの設備面や対応できる職員配置とする必要がある。		離れを利用した地域交流は、カラオケ等、スタートしている。